

新旧对照表

○枕崎市運動場条例等の一部を改正する条例第1条の規定による枕崎市運動場条例の一部改正

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| (趣旨) | (趣旨) |
| 第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号。 <u>以下「法」という。</u> ） 第244条の2第1項の規定に基づき、枕崎市運動場（以下「運動場」という。） の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。 | 第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号_____） 第244条の2第1項の規定に基づき、枕崎市運動場（以下「運動場」という。） の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。 |
| 第2条 略 <u>（運動場の管理）</u> | 第2条 略 |
| 第2条の2 <u>運動場の管理は、法第244条の2第3項の規定により、法人その 他の団体であつて市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に 行わせるものとする。</u> | |
| 2 <u>指定管理者は、法令、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、誠 実に運動場を管理しなければならない。</u> | |
| 3 <u>運動場の管理に関しては、この条例に定めのあるものを除くほか、枕崎 市議会の議決に付すべき公の施設に関する条例（昭和39年枕崎市条例第2 号）及び枕崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例（平 成18年枕崎市条例第21号）の規定を適用する。</u> | |
| <u>（指定管理者が行う業務）</u> | |
| 第2条の3 <u>指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。</u> | |
| <u>（1） 運動場の利用の許可に関する業務</u> | |
| <u>（2） 運動場の施設及び附属設備の維持管理に関する業務</u> | |
| <u>（3） 運動場の運営に関する業務</u> | |
| <u>（4） 運動場の利用料金（法第244条の2第8項に規定する料金をいう。以 下同じ。）の決定、徴収及び減免に関する業務</u> | |
| <u>（5） 前各号に掲げるもののほか、運動場の管理運営上市長が必要と認め る業務</u> | |
| <u>（利用の許可）</u> | <u>（使用の許可）</u> |
| 第3条 運動場を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受 | 第3条 運動場を使用しようとする者は、あらかじめ市長 _____ の許可を受 |

| 改正後 | 改正前 |
|---|--|
| <p>けなければならない。</p> <p>2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、運動場の利用を許可しない。</p> <p>(1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。</p> <p>(2) 公益を害するおそれがあると認められるとき。</p> <p>(3) 建物及び附属設備をき損するおそれがあると認められるとき。</p> <p>(4) その他運動場の管理上支障があると認められるとき。</p> <p>(利用期間)</p> <p>第4条 運動場は、引き続き5日以上利用することができない。ただし、指定管理者が、特別の必要を認めるとき又は運動場の管理上支障がないと認めるときは、この限りでない。</p> <p>(目的外利用又は 権利譲渡)</p> <p>第5条 利用者は、運動場を許可目的以外の目的に利用し、又は利用する権利を譲渡してはならない。</p> <p>(利用料金)</p> <p>第6条 利用料金は、別表に定める額の範囲内とし、指定管理者が市長の承認を得て定める。</p> <p>2 利用者は、前項に規定する利用料金の全額を指定管理者が指定する日までに前納しなければならない。ただし、指定管理者が特に必要と認めるときは、利用料金を後納することができる。</p> <p>3 指定管理者は、第1項の利用料金を徴収し、当該指定管理者の収入として収受するものとする。</p> <p>4 指定管理者において特別の事情があると認めたときは、利用料金を減免することができる。</p> <p>5 指定管理者は、運動場の利用を許可された者が天候その他特別の理由により利用しなかつたときは、納入された利用料金を返戻することができる。</p> <p>(設備の制限)</p> <p>第7条 利用者は、運動場の利用の際、特別の設備を設置しようとするときは、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。</p> | <p>けなければならない。</p> <p>2 市長は、運動場の管理上支障があると認めるときは、使用を許可しない。</p> <p>(使用期間)</p> <p>第4条 運動場は、引き続き5日以上使用することができない。ただし、市長が、特別の必要を認めるとき又は運動場の管理上支障がないと認めるときは、この限りでない。</p> <p>(目的外使用若しくは権利譲渡)</p> <p>第5条 使用者は、運動場を許可目的以外の目的に使用し、又は使用する権利を譲渡してはならない。</p> <p>(使用料)</p> <p>第6条 運動場を使用しようとする者は、別表に定める使用料を納入しなければならない。</p> <p>2 使用料は、使用許可の際納入するものとする。</p> <p>3 市長において特別の事情があると認めたときは、使用料を減免することができる。</p> <p>4 市長は、運動場の使用を許可された者が天候その他特別の理由により使用しなかつたときは、納入された使用料を返戻することができる。</p> <p>(設備の制限)</p> <p>第7条 使用者は、運動場を使用するため、特別の設備をしようとするときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。</p> |

| 改正後 | | | | 改正前 | | | |
|--|--------|--|--|--|--------|--|--|
| (利用許可の取消し) | | | | (使用許可の取消し) | | | |
| 第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者について、 <u>利用</u> の許可を取り消すことができる。 | | | | 第8条 市長_____は、次の各号のいずれかに該当する者について、 <u>使用</u> の許可を取り消すことができる。 | | | |
| (1)～(2) 略 | | | | (1)～(2) 略 | | | |
| (原状回復義務) | | | | (原状回復義務) | | | |
| 第9条 利用者は、運動場の <u>利用</u> を終了したときは、直ちに原状に回復して返還しなければならない。 | | | | 第9条 使用者は、運動場の <u>使用</u> を終了したときは、直ちに原状に回復して返還しなければならない。 | | | |
| (中 略) | | | | (中 略) | | | |
| 別表 (第6条関係) | | | | 別表 (第6条関係) | | | |
| 1 野球場 <u>利用料金</u> | | | | 1 野球場 <u>使用料</u> | | | |
| 運動場名 | | 野球場 | | 運動場名 | | 野球場 | |
| <u>利用者</u> | 区分 | 社会人 | 学生・児童生徒 | <u>使用者</u> | 区分 | 社会人 | 学生・児童生徒 |
| 利用区分 | | | | 使用区分 | | | |
| 練習の場合 | | 2時間まで330円とし、 1時間を増すごとに、 220円を加算する。 | 2時間まで160円とし、 1時間を増すごとに、 110円を加算する。 | 練習の場合 | | 2時間まで330円とし、 1時間を増すごとに、 220円を加算する。 | 2時間まで160円とし、 1時間を増すごとに、 110円を加算する。 |
| 試合の場合 | | 2時間まで660円とし、 1時間を増すごとに、 330円を加算する。 | 2時間まで330円とし、 1時間を増すごとに、 160円を加算する。 | 試合の場合 | | 2時間まで660円とし、 1時間を増すごとに、 330円を加算する。 | 2時間まで330円とし、 1時間を増すごとに、 160円を加算する。 |
| 附属 | スコアボード | 1試合につき 220円 | | 附属 | スコアボード | 1試合につき 220円 | |
| 設備 | 放送設備 | 1回につき 550円 | | 設備 | 放送設備 | 1回につき 550円 | |
| 附記 | | | | 附記 | | | |
| 1 <u>利用者</u> が枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民でない場合の <u>利用料金</u> は、 <u>利用料金</u> に5割を乗じて得た額を加算する。 | | | | 1 <u>使用者</u> が枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民でない場合の <u>使用料</u> は、 <u>使用料</u> に5割を乗じて得た額を加算する。 | | | |
| 2 <u>利用時間</u> に1時間未満の端数があるときは、その端数は1時間とみなす。 | | | | 2 <u>使用時間</u> に1時間未満の端数があるときは、その端数は1時間とみなす。 | | | |
| 3 この表の規定に基づき算定した利用料金の額に10円未満の端数が生 | | | | 3 この表の規定に基づき算定した使用料 の額に10円未満の端数が生 | | | |

改正後

じたときは、その端数は切り捨てるものとする。

2 プール利用料金

| | | | |
|------|--------|--|---------|
| 運動場名 | プール | | |
| 占用利用 | 利用料金 | | |
| | 1 日の場合 | | 14,300円 |
| | 午前の場合 | | 5,500円 |
| | 午後の場合 | | 8,800円 |

附記

1 利用者が枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民でない場合の利用料金は、利用料金に 5 割を乗じて得た額を加算する。

2 許可時間を延長した場合の利用料金は、延長 1 時間（1 時間未満の端数があるときは、1 時間とする。）ごとに、その属する利用時間区分の利用料金に 2 割を乗じた額を加算して得た額とする。

3 この表の規定に基づき算定した利用料金の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。

3 塩浜テニス場利用料金

| | | | | | | |
|-------|--------|---------|------|---------|---------|------|
| 運動場名 | 塩浜テニス場 | | | | | |
| 利用者区分 | 社会人 | | | 学生・児童生徒 | | |
| | | | | | | |
| 占用利用 | 午前の場合 | 1 面当 | 660円 | 午前の場合 | 1 面当 | 330円 |
| | たり | | | たり | | |
| | 午後の場合 | 1 面当 | 880円 | 午後の場合 | 1 面当 | 440円 |
| | たり | | | たり | | |
| | 夜間の場合 | 1 面当 | 880円 | 夜間の場合 | 1 面当 | 440円 |
| | たり | | | たり | | |
| 上記以外 | 1 面 | 1 時間当たり | 220円 | 1 面 | 1 時間当たり | 110円 |

改正前

じたときは、その端数は切り捨てるものとする。

2 プール使用料

| | | | |
|------|--------|--|---------|
| 運動場名 | プール | | |
| 占用使用 | 使用料 | | |
| | 1 日の場合 | | 14,300円 |
| | 午前の場合 | | 5,500円 |
| | 午後の場合 | | 8,800円 |

附記

1 使用者が枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民でない場合の使用料は、使用料に 5 割を乗じて得た額を加算する。

2 許可時間を延長した場合の使用料は、延長 1 時間（1 時間未満の端数があるときは、1 時間とする。）ごとに、その属する使用時間区分の使用料に 2 割を乗じた額を加算して得た額とする。

3 この表の規定に基づき算定した使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。

3 塩浜テニス場使用料

| | | | | | | |
|-------|--------|---------|------|---------|---------|------|
| 運動場名 | 塩浜テニス場 | | | | | |
| 使用者区分 | 社会人 | | | 学生・児童生徒 | | |
| | | | | | | |
| 占用使用 | 午前の場合 | 1 面当 | 660円 | 午前の場合 | 1 面当 | 330円 |
| | たり | | | たり | | |
| | 午後の場合 | 1 面当 | 880円 | 午後の場合 | 1 面当 | 440円 |
| | たり | | | たり | | |
| | 夜間の場合 | 1 面当 | 880円 | 夜間の場合 | 1 面当 | 440円 |
| | たり | | | たり | | |
| 上記以外 | 1 面 | 1 時間当たり | 220円 | 1 面 | 1 時間当たり | 110円 |

改正後

附記 この表において、プール利用料金の表附記の規定を準用する。

4 ソフトボール場の占有利用料金

| 利用区分 | | 午前 | 午後 | 夜間 |
|------------------------|-----------|-----------|--------|---------|
| 施設名 | | 8 時30分～正午 | 正午～17時 | 17時～22時 |
| 占有利用 (社会人) 一面当たり | 塩浜ソフトボール場 | 330円 | 440円 | 330円 |
| | 深浦ソフトボール場 | 330円 | 440円 | 330円 |

附記 この表において、プール利用料金の表附記の規定を準用する。

5 夜間照明施設の利用料金

| 施設名 | | 利用料金（1 時間当たり） |
|-----------------|-----------|---------------|
| ソフト ボール 場 | 塩浜第 1 コート | 1, 500円 |
| | 塩浜第 3 コート | 1, 500円 |
| | 深浦運動場 | 1, 500円 |
| | 塩浜テニス場 | 1 面 600円 |

利用者が枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民でない場合は、
利用料金に 5 割を乗じて得た額を加算する。

改正前

附記 この表において、プール使用料の表附記の規定を準用する。

4 ソフトボール場の占有使用料

| 使用区分 | | 午前 | 午後 | 夜間 |
|------------------------|-----------|-----------|--------|---------|
| 施設名 | | 8 時30分～正午 | 正午～17時 | 17時～22時 |
| 占有使用 (社会人) 一面当たり | 塩浜ソフトボール場 | 330円 | 440円 | 330円 |
| | 深浦ソフトボール場 | 330円 | 440円 | 330円 |

附記 この表において、プール使用料の表附記の規定を準用する。

5 夜間照明施設の使用料

| 施設名 | | 使用料（1 時間当たり） |
|-----------------|-----------|--------------|
| ソフト ボール 場 | 塩浜第 1 コート | 1, 500円 |
| | 塩浜第 3 コート | 1, 500円 |
| | 深浦運動場 | 1, 500円 |
| | 塩浜テニス場 | 1 面 600円 |

使用者が枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民でない場合は、
使用料に 5 割を乗じて得た額を加算する。

○第2条の規定による枕崎市立総合体育館等の設置及び管理に関する条例の一部改正

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| <p>第1条 略</p> <p>(職員)</p> <p>第2条 体育館に館長その他必要な職員を置く。</p> <p>(体育館の管理)</p> <p>第3条 体育館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。</p> <p>2 指定管理者は、法令、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、誠実に体育館を管理しなければならない。</p> <p>3 体育館の管理に関しては、この条例に定めのあるものを除くほか、枕崎市議会の議決に付すべき公の施設に関する条例（昭和39年枕崎市条例第2号）及び枕崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例（平成18年枕崎市条例第21号）の規定を適用する。</p> <p>(指定管理者が行う業務)</p> <p>第3条の2 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。</p> <p>(1) 体育館の利用の許可に関する業務</p> <p>(2) 体育館の施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の維持管理に関する業務</p> <p>(3) 体育館の運営に関する業務</p> <p>(4) 体育館の利用料金（法第244条の2第8項に規定する料金をいう。以下同じ。）の決定、徴収及び減免に関する業務</p> <p>(5) 前各号に掲げるもののほか、体育館の管理運営上市長が必要と認める業務</p> <p>(利用の許可)</p> <p>第4条 体育館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可された事項を変更しようとするときもまた同様とする。</p> | <p>第1条 略</p> <p>第2条 削除</p> <p>(職員)</p> <p>第3条 体育館に館長その他必要な職員を置く。</p> <p>(使用の許可)</p> <p>第4条 体育館を使用しようとする者は、あらかじめ市長_____の許可を受けなければならない。許可された事項を変更しようとするときも又____同様とする。</p> |

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| <p>2 <u>指定管理者</u>は、前項の許可をするにあたり体育館の管理上必要な条件を付することができる。</p> <p>(<u>利用制限及び取消し等</u>)</p> <p>第5条 <u>指定管理者</u>は、次の各号の<u>いずれかに該当するときは</u>、体育館の<u>利用</u>を許可しない。</p> <p>(1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められる<u>とき</u>。</p> <p>(2) 公益を害するおそれがあると認められる<u>とき</u>。</p> <p>(3) <u>施設等</u>をき損するおそれがあると認められる<u>とき</u>。</p> <p>(4) その他体育館の管理上支障があると認められる<u>とき</u>。</p> <p>2 <u>指定管理者</u>は、次の各号の<u>いずれかに該当するときは</u>、許可の条件を変更し、又は許可を取消し、若しくは<u>利用</u>の中止を命ずることができる。</p> <p>(1) <u>前条</u>の規定に基づき許可を受けた者（以下「<u>利用者</u>」という。）が許可の目的又は許可の条件に違反した<u>とき</u>。</p> <p>(2) <u>利用者</u>がこの条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反した<u>とき</u>。</p> <p>3 前項に基づく処分によつて<u>利用者</u>に損害が生じても、市はその賠償の責めを負わない。</p> <p>(<u>目的外利用、権利譲渡等の禁止</u>)</p> <p>第6条 <u>利用者</u>は、体育館を許可目的以外に<u>利用し</u>、又は、その<u>利用の権利</u>を譲渡し、若しくは転貸することができない。</p> <p>(<u>利用料金</u>)</p> <p>第7条 <u>利用料金</u>は、別表に定める額の範囲内とし、指定管理者が市長の承認を得て定める。</p> <p>2 <u>利用者は</u>、前項に規定する利用料金の全額を指定管理者が指定する日までに前納しなければならない。ただし、指定管理者が特に必要と認めるときは、利用料金を後納することができる。</p> <p>3 <u>指定管理者は</u>、第1項の利用料金を徴収し、当該指定管理者の収入として収受するものとする。</p> <p>4 既納の<u>利用料金</u>は、返還しない。ただし、次の各号の<u>いずれかに該当するときは</u>、返還する。</p> | <p>2 <u>市長</u>は、前項の許可をするにあたり体育館の管理上必要な条件を付することができる。</p> <p>(<u>使用制限及び取消し等</u>)</p> <p>第5条 <u>市長</u>は、次の各号の<u>一に該当するときは</u>、体育館の<u>使用</u>を許可しない。</p> <p>(1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められる<u>とき</u>。</p> <p>(2) 公益を害するおそれがあると認められる<u>とき</u>。</p> <p>(3) <u>建物及び附属設備</u>をき損するおそれがあると認められる<u>とき</u>。</p> <p>(4) その他体育館の管理上支障があると認められる<u>とき</u>。</p> <p>2 <u>市長</u>は、次の各号の<u>一に該当するときは</u>、許可の条件を変更し、又は許可を取消し、若しくは<u>使用</u>の中止を命ずることができる。</p> <p>(1) <u>第4条</u>の規定に基づき許可を受けた者（以下「<u>使用者</u>」という。）が許可の目的又は許可の条件に違反した<u>とき</u>。</p> <p>(2) <u>使用者</u>がこの条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反した<u>とき</u>。</p> <p>3 前項に基づく処分によつて<u>使用者</u>に損害が生じても、市はその賠償の責めを負わない。</p> <p>(<u>目的外使用、権利譲渡等の禁止</u>)</p> <p>第6条 <u>使用者</u>は、体育館を許可目的以外に<u>使用し</u>、又は、その<u>使用の権利</u>を譲渡し、若しくは転貸することができない。</p> <p>(<u>使用料</u>)</p> <p>第7条 <u>使用料</u>は、別表のとおりとする。</p> <p>2 <u>使用料は</u>、市長が認めた場合を除き、現金で前納しなければならない。</p> <p>3 既納の<u>使用料</u>は、返還しない。ただし、次の各号の<u>一に該当するときは</u>、返還する。</p> |

| 改正後 | 改正前 |
|---|---|
| <p>る場合は、この限りでない。</p> <p>(1) 災害その他<u>利用者</u>の責めに帰することができない理由により<u>利用不能</u>となつた<u>とき</u>。</p> <p>(2) 公益上又は管理上の必要により許可を取消した<u>とき</u>。</p> <p>(3) <u>利用者</u>が、<u>利用開始前</u>3日までに許可の取消し及び変更を申し出た場合において、相当の理由があると認めた<u>とき</u>。</p> <p>(<u>利用料金</u>の減免)</p> <p>第8条 <u>指定管理者</u>は、アマチュアスポーツに<u>利用する者</u>が、入場料その他これに類するもの（以下「入場料等」という。）を徴収しない場合、その他特別な事由があると認める場合は、別に規則で定めるところにより、<u>利用料金</u>を免除し、又は減額することができる。</p> <p>(施設等の原状変更禁止)</p> <p>第9条 <u>利用者</u>は、施設等を模様替えし、又は設備を付加し、その他施設等の原状を変更してはならない。ただし、<u>指定管理者</u>の承認を受けた場合は、この限りでない。</p> <p>2 前項ただし書の規定により、模様替えし、又は設備を付加した場合には、<u>利用者は指定管理者の指示に従い、施設等の利用終了後直ちに原状に復さなければならない</u>。</p> <p>(損害賠償)</p> <p>第10条 <u>利用者</u>が、施設等をき損し、又は損傷し、若しくは滅失したときは、<u>利用者はそれによつて生じた損害を賠償しなければならない</u>。</p> <p>(入館の制限)</p> <p>第11条 <u>指定管理者</u>は、次の各号の<u>いずれかに</u>該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>(立入検査及び指示)</p> <p>第12条 <u>利用者</u>は、体育館の職員が職務執行のために行う立入検査又は必要な指示に対してこれを拒むことはできない。</p> <p>(中 略)</p> | <p>る場合は、この限りでない。</p> <p>(1) 災害その他<u>使用者</u>の責めに帰することができない理由により<u>使用不能</u>となつた<u>とき</u>。</p> <p>(2) 公益上又は管理上の必要により許可を取消した<u>とき</u>。</p> <p>(3) <u>使用者</u>が、<u>使用開始前</u>3日までに許可の取消し及び変更を申し出た場合において、相当の理由があると認めた<u>とき</u>。</p> <p>(<u>使用料</u>の減免)</p> <p>第8条 <u>市長</u>は、アマチュアスポーツに<u>使用する者</u>が、入場料その他これに類するもの（以下「入場料等」という。）を徴収しない場合、その他特別な事由があると認める場合は、別に規則で定めるところにより、<u>使用料</u>を免除し、又は減額することができる。</p> <p>(施設等の原状変更禁止)</p> <p>第9条 <u>使用者</u>は、施設等を模様替えし、又は設備を付加し、その他施設等の原状を変更してはならない。ただし、<u>市長</u>の承認を受けた場合は、この限りでない。</p> <p>2 前項ただし書の規定により、模様替えし、又は設備を付加した場合には、<u>使用者は市長</u>の指示に従い、施設等の<u>使用終了後直ちに原状に復さなければならない</u>。</p> <p>(損害賠償)</p> <p>第10条 <u>使用者</u>が、施設等をき損し、又は損傷し、若しくは滅失したときは、<u>使用者はそれによつて生じた損害を賠償しなければならない</u>。</p> <p>(入館の制限)</p> <p>第11条 <u>市長</u>は、次の各号の<u>一に</u>該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>(立入検査及び指示)</p> <p>第12条 <u>使用者</u>は、体育館の職員が職務執行のために行う立入検査又は必要な指示に対してこれを拒むことはできない。</p> <p>(中 略)</p> |

改正後

別表（第7条関係）

1 総合体育館の占用利用料金及び会議室の利用料金

| 利用時間 | | | | 午前 | 午後 | 夜間 |
|----------|--|---------------------------------------|-------------|--------------|------------|-------------|
| 利用区分 | | | | 8時30分 ～正午 | 正午～17 時 | 17時～22 時 |
| 占用 利用 | 利用 者が 入場 料等 を徴 収し ない 場合 | アマチュアス ポーツに利用 する場合 | 学生・児童生 徒 | 円 710 | 円 990 | 円 1,480 |
| | | | その他の団体 | 1,430 | 2,030 | 3,020 |
| | | 文化的催物に利用する場合 （営利又は宣伝を目的とし ない場合） | | 2,860 | 4,070 | 6,050 |
| | | その他の場合 | | 8,580 | 12,210 | 18,310 |
| | 利用 者が 入場 料等 を徴 収す る場 合 | アマチュアスポーツに利用 する場合 | | 4,290 | 6,100 | 9,130 |
| | | 文化的催物に利用する場合 （営利又は宣伝を目的とし ない場合） | | 8,580 | 12,210 | 18,310 |
| その他の場合 | | 21,450 | 30,630 | 45,920 | | |
| 一部利用 | | 会議室 | 270 | 380 | 550 | |

附記

(1) 利用者が、入場料を徴収しないが入場料に相当する金員を徴収したと認められるとき（会費を徴収する場合、会員制度により会員を招待する場合、商品等の売上高により招待券を発行する場合、その他これに準ずる場合）は、入場料等を徴収する場合とみなして利用料金を

改正前

別表（第7条関係）

1 総合体育館の使用料 及び会議室の使用料

| 使用時間 | | | | 午前 | 午後 | 夜間 |
|----------|--|---------------------------------------|-------------|--------------|------------|-------------|
| 使用区分 | | | | 8時30分 ～正午 | 正午～17 時 | 17時～22 時 |
| 占用 使用 | 使用 者が 入場 料等 を徴 収し ない 場合 | アマチュアス ポーツに使用 する場合 | 学生・児童生 徒 | 円 710 | 円 990 | 円 1,480 |
| | | | その他の団体 | 1,430 | 2,030 | 3,020 |
| | | 文化的催物に使用する場合 （営利又は宣伝を目的とし ない場合） | | 2,860 | 4,070 | 6,050 |
| | | その他の場合 | | 8,580 | 12,210 | 18,310 |
| | 使用 者が 入場 料等 を徴 収す る場 合 | アマチュアスポーツに使用 する場合 | | 4,290 | 6,100 | 9,130 |
| | | 文化的催物に使用する場合 （営利又は宣伝を目的とし ない場合） | | 8,580 | 12,210 | 18,310 |
| その他の場合 | | 21,450 | 30,630 | 45,920 | | |
| 一部使用 | | 会議室 | 270 | 380 | 550 | |

附記

(1) 使用者が、入場料を徴収しないが入場料に相当する金員を徴収したと認められるとき（会費を徴収する場合、会員制度により会員を招待する場合、商品等の売上高により招待券を発行する場合、その他これに準ずる場合）は、入場料等を徴収する場合とみなして使用料

改正後

徴収する。

(2) 利用者が、入場料等を徴収する場合中、「その他の場合」の利用料金は、1日につき税込最高入場料に100を乗じた額を基本利用料金に加算して得た額とする。

ア～ウ 略

(3) 土曜日、日曜日又は国民の祝日に関する法律に規定する休日に利用する場合（利用者が入場料を徴収しない場合で、アマチュアスポーツに利用する場合を除く。）の利用料金は、当該基本利用料金に2割を乗じた額を加算して得た額とする。

(4) 利用者が枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民でない場合の利用料金は、基本利用料金に5割を乗じた額を加算して得た額とする。

(5) 許可時間を延長した場合の利用料金は、延長1時間（1時間未満の端数があるときは、1時間とする。以下同じ。）ごとに、その属する利用時間区分の利用料金に2割を乗じた額を加算して得た額とする。ただし、22時以後の利用については、延長1時間ごとに「夜間」の利用時間区分の利用料金に5割を乗じた額（その額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）を加算して得た額とする。

(6) この表の規定に基づき算定した利用料金の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。

2 総合体育館の一部利用料金

| | | | | | |
|------|--------|--------------|----|-----------------------------|-------------------------|
| 団体利用 | 種目 | <u>利用者区分</u> | 単位 | <u>利用料金</u> (1時間 当たり) | 備考 |
| | 卓球 | 学生・児童生徒 | 1台 | 円 30 | ラケット、球 は除く |
| | | 社会人 | | 60 | |
| | バドミントン | 学生・児童生徒 | 1面 | 50 | ラケット、シ ャトルコック は除く |
| | | 社会人 | | 110 | |
| | | | | | |

改正前

徴収する。

(2) 使用者が、入場料等を徴収する場合中、「その他の場合」の使用料は、1日につき税込最高入場料に100を乗じた額を基本使用料に加算して得た額とする。

ア～ウ 略

(3) 土曜日、日曜日又は国民の祝日に関する法律に規定する休日に使用する場合（使用者が入場料を徴収しない場合で、アマチュアスポーツに使用する場合を除く。）の使用料は、当該基本使用料に2割を乗じた額を加算して得た額とする。

(4) 使用者が枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民でない場合の使用料は、基本使用料に5割を乗じた額を加算して得た額とする。

(5) 許可時間を延長した場合の使用料は、延長1時間（1時間未満の端数があるときは、1時間とする。以下同じ。）ごとに、その属する使用時間区分の使用料に2割を乗じた額を加算して得た額とする。ただし、22時以後の使用については、延長1時間ごとに「夜間」の使用時間区分の使用料に5割を乗じた額（その額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）を加算して得た額とする。

(6) この表の規定に基づき算定した使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。

2 総合体育館の一部使用料

| | | | | | |
|------|--------|--------------|----|----------------------------|-------------------------|
| 団体使用 | 種目 | <u>使用者区分</u> | 単位 | <u>使用料</u> (1時間 当たり) | 備考 |
| | 卓球 | 学生・児童生徒 | 1台 | 円 30 | ラケット、球 は除く |
| | | 社会人 | | 60 | |
| | バドミントン | 学生・児童生徒 | 1面 | 50 | ラケット、シ ャトルコック は除く |
| | | 社会人 | | 110 | |
| | | | | | |

| 改正後 | | | | | | | 改正前 | | | | | | | |
|-----|-------------|-----------|-----------------|-----|-----|-----------|-----|-------------|---------|-----------------|--|--|--|--|
| | | バレーボール | 学生・児童生徒 | 1 面 | 110 | | | | | | | | | |
| | | バスケットボール | 社会人 | | 220 | | | | | | | | | |
| | | テニス | 学生・児童生徒 | 1 面 | 110 | ラケット、球は除く | | | | | | | | |
| | | | 社会人 | | 220 | | | | | | | | | |
| | | 体操 | 学生・児童生徒 | 1 面 | 50 | | | | | | | | | |
| | | | 社会人 | | 110 | | | | | | | | | |
| | | 剣道 銃剣道 | 学生・児童生徒 | 1 面 | 50 | | | | | | | | | |
| | | | 社会人 | | 110 | | | | | | | | | |
| | <u>個人利用</u> | 学生・児童生徒 | 1 人 1 時間当たり 20円 | | | | | <u>個人使用</u> | 学生・児童生徒 | 1 人 1 時間当たり 20円 | | | | |
| | | 社会人 | 1 人 1 時間当たり 50円 | | | | | | 社会人 | 1 人 1 時間当たり 50円 | | | | |

| 改正後 | | | | | |
|------------------|-----------------|---------------|----|----------------------|----|
| 団 体 利 用 | 種目 | 利用者区分 | 単位 | 利用料金 (1時間 当たり) | 備考 |
| | 柔道 剣道 銃剣道 | 学生・児童生徒 | 1面 | 50円 | |
| | | 雇用保険の被 保険者 | | 50円 | |
| | | 社会人 | | 110円 | |
| 個 人 利 用 | 学生・児童生徒 | 1人1時間当たり 20円 | | | |
| | 雇用保険の被 保険者 | 1人1時間当たり 20円 | | | |
| | 社会人 | 1人1時間当たり 50円 | | | |

附記

この表において、総合体育館の一部利用料金の附記の規定を準用する。

5 弓道場利用料金

| 団 体 利 用 | 学生・児童生徒 | 1時間当たり 50円 |
|------------------|---------|--------------|
| | 社会人 | 1時間当たり 110円 |
| 個 人 利 用 | 学生・児童生徒 | 1人1時間当たり 20円 |
| | 社会人 | 1人1時間当たり 50円 |

附記

この表において、総合体育館の一部利用料金の附記の規定を準用する。

6 電灯等を利用した場合の利用料金

| 施設名 | 回路 | 利用料金 |
|-----|------|-----------------|
| 体育館 | 全照型 | 1回路 1時間当たり 120円 |
| | 部分照型 | 1回路 1時間当たり 80円 |
| 卓球場 | 1回路 | 1時間当たり 80円 |

| 改正前 | | | | | |
|------------------|-----------------|---------------|----|---------------------|----|
| 団 体 使 用 | 種目 | 使用者区分 | 単位 | 使用料 (1時間 当たり) | 備考 |
| | 柔道 剣道 銃剣道 | 学生・児童生徒 | 1面 | 50円 | |
| | | 雇用保険の被 保険者 | | 50円 | |
| | | 社会人 | | 110円 | |
| 個 人 使 用 | 学生・児童生徒 | 1人1時間当たり 20円 | | | |
| | 雇用保険の被 保険者 | 1人1時間当たり 20円 | | | |
| | 社会人 | 1人1時間当たり 50円 | | | |

附記

この表において、総合体育館の一部使用料の附記の規定を準用する。

5 弓道場使用料

| 団 体 使 用 | 学生・児童生徒 | 1時間当たり 50円 |
|------------------|---------|--------------|
| | 社会人 | 1時間当たり 110円 |
| 個 人 使 用 | 学生・児童生徒 | 1人1時間当たり 20円 |
| | 社会人 | 1人1時間当たり 50円 |

附記

この表において、総合体育館の一部使用料の附記の規定を準用する。

6 電灯等を使用した場合の使用料

| 施設名 | 回路 | 使用料 |
|-----|------|-----------------|
| 体育館 | 全照型 | 1回路 1時間当たり 120円 |
| | 部分照型 | 1回路 1時間当たり 80円 |
| 卓球場 | 1回路 | 1時間当たり 80円 |

| 改正後 | | | | 改正前 | | | |
|--|--|------|--------------|--|--|------|--------------|
| 武道館 | | 1 回路 | 1 時間当たり 120円 | 武道館 | | 1 回路 | 1 時間当たり 120円 |
| 弓道場 | | 1 回路 | 1 時間当たり 30円 | 弓道場 | | 1 回路 | 1 時間当たり 30円 |
| 特別の設備、器具等を <u>利用した</u> ときは、別に電気、ガス、水道利用の実費相当額を加算する。 | | | | 特別の設備、器具等を <u>使用した</u> ときは、別に電気、ガス、水道使用の実費相当額を加算する。 | | | |
| 附記 | | | | 附記 | | | |
| 1 <u>利用時間</u> に1時間未満の端数があるときは、その端数は、1時間とみなす。ただし、その端数が30分を超えないときは30分とみなし、その <u>利用料金</u> は、1時間当たりの <u>利用料金</u> の2分の1の額とする。 | | | | 1 <u>使用時間</u> に1時間未満の端数があるときは、その端数は、1時間とみなす。ただし、その端数が30分を超えないときは30分とみなし、その <u>使用料</u> は、1時間当たりの <u>使用料</u> の2分の1の額とする。 | | | |
| 2 この表の規定に基づき算定した <u>利用料金</u> の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。 | | | | 2 この表の規定に基づき算定した <u>使用料</u> の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。 | | | |

○第3条の規定による枕崎市海洋センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

| 改正後 | 改正前 |
|--|--|
| <p>(目的)</p> <p>第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号。<u>以下「法」という。</u>） 第244条の2第1項の規定に基づき、枕崎市海洋センターの設置及び管理に 関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>第2条 略</p> <p>(職員)</p> <p>第3条 海洋センターに所長その他必要な職員を置く。</p> <p><u>(海洋センターの管理)</u></p> <p>第4条 <u>海洋センターの管理は、法第244条の2第3項の規定により、法人そ の他の団体であつて市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。） に行わせるものとする。</u></p> <p>2 <u>指定管理者は、法令、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、誠 実に海洋センターを管理しなければならない。</u></p> <p>3 <u>海洋センターの管理に関しては、この条例に定めのあるものを除くほか、 枕崎市議会の議決に付すべき公の施設に関する条例（昭和39年枕崎市条例 第2号）及び枕崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例 （平成18年枕崎市条例第21号）の規定を適用する。</u></p> <p><u>(指定管理者が行う業務)</u></p> <p>第4条の2 <u>指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。</u></p> <p>(1) <u>海洋センターの使用の許可に関する業務</u></p> <p>(2) <u>海洋センターの施設及び附属設備の維持管理に関する業務</u></p> <p>(3) <u>海洋センターの運営に関する業務</u></p> <p>(4) <u>前3号に掲げるもののほか、海洋センターの管理運営上市長が必要 と認める業務</u></p> <p>(使用の許可)</p> <p>第5条 海洋センターを使用しようとする者は、あらかじめ<u>指定管理者</u>の許 可を受けなければならない。</p> | <p>(目的)</p> <p>第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号_____） 第244条の2第1項の規定に基づき、枕崎市海洋センターの設置及び管理に 関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>第2条 略</p> <p>第3条 <u>削除</u></p> <p>(職員)</p> <p>第4条 海洋センターに所長その他必要な職員を置く。</p> <p>(使用の許可)</p> <p>第5条 海洋センターを使用しようとする者は、あらかじめ<u>市長</u>の許 可を受けなければならない。</p> |

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| <p>2 <u>指定管理者</u>は、海洋センターの管理上必要と認めたときは、前項の許可をするにあたり、条件を付することができる。</p> <p>(中 略)</p> <p>(使用の制限及び取消し等)</p> <p>第7条 <u>指定管理者</u>は、次の各号の<u>いずれかに</u>該当するときは、海洋センターの使用を許可しない。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>2 <u>指定管理者</u>は、次の各号の<u>いずれかに</u>該当するときは、許可の条件を変更し、又は許可を取り消し、若しくは使用の中止を命ずることができる。</p> <p>(1)～(2) 略</p> <p>(中 略)</p> | <p>2 <u>市長</u>は、海洋センターの管理上必要と認めたときは、前項の許可をするにあたり、条件を付することができる。</p> <p>(中 略)</p> <p>(使用の制限及び取消し等)</p> <p>第7条 <u>市長</u>は、次の各号の<u>一に</u> <u> </u>該当するときは、海洋センターの使用を許可しない。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>2 <u>市長</u>は、次の各号の<u>一に</u> <u> </u>該当するときは、許可の条件を変更し、又は許可を取り消し、若しくは使用の中止を命ずることができる。</p> <p>(1)～(2) 略</p> <p>(中 略)</p> |